役員会

- ・四月一九日 「今年度活動計画並びに講演会開催につ
- ・九月二七日 「今年度研究会開催について」
- ・一一月二九日 「来年度予算計画について」

参禅会運営委員会

- ・四月一九日 「今年度肝紊めずな汁及ず」・四月一九日 「今年度活動計画並びに今年度研修旅行
- 九月二七日 「今年度研修旅行会計報告」
- 行について」 一一月二九日 「来年度予算計画並びに来年度研修旅

〇 『禅研究所紀要』編集委員会

平成一七年度禅研究所活動記録・一一月二九日 『『禅研究所紀要』第三四号について』

○ 研修旅行

ター黎明館(鹿児島市)を訪問、見学した。 大野栄人所長以下二九名の参禅会員が、八月三○日 大野栄人所長以下二九名の参禅会員が、八月三○日 大野栄人所長以下二九名の参禅会員が、八月三○日 大野栄人所長以下二九名の参禅会員が、八月三○日 大野栄人所長以下二九名の参禅会員が、八月三○日

) 火曜参禅会

(成道会摂心)、一月一〇日、二月七日 九月二七日、一〇月一一日、一一月八日、一二月六日·四月一二日、五月一〇日、六月一四日、七月一二日、

講演会

六月一五日(水)午後三時二〇分より

一号館一二一教室

愛知学院大学名誉教授・禅研究所前所長

「道元の学道観

中祖一誠先生

公開講演会 (協賛)

一〇月二七日(木)午後一時一〇分より

楠元学舎記念講堂

「グローバル社会と日本人」

東京外国語大学教授 町田宗鳳先生

\bigcirc 研究会

一〇月一四日 金) 午後二時五〇分より

禅研究所会議室

|仏教研究関連資料の電子化—『摩訶止観』のCD

ROMを事例として―

平成一七年度禅研究所所員・研究員による著書・学術 論文(仏教・宗教関係)(平成一七年四月~一八年三月)

伊藤秀憲

『普勧坐禅儀』をどう読むかについて」『禅の真理と 実践』(東隆眞博士古稀記念論集)春秋社

大野栄人

「『次第禅門』の研究 (一)」 『愛知学院大学人間文化研

究所紀要 人間文化』二〇

「『法華玄義』の研究 (二)」『愛知学院大学文学部紀

要」三五

『次第禅門』 の研究(二)」『閑花集』愛知学院大学短

期大学部

「『次第禅門』の研究(三)」 『禅研究所紀要』三四

「永遠の仏のいのち―『妙法蓮華経』如来寿量品 え― (一) ~ (一一)」『跳龍』六四六~六五六

の教

河合泰弘

-瑩山における祈り―『洞谷記』を中心として―」『日

南山宗教文化研究所所長 ポール・スワンソン先生

-280

本仏教学会年報』七〇

「『洞谷記』の文章排列について」『禅の真理と実践 (東隆眞博士古稀記念論集) 春秋社

『『洞谷記』に基づく瑩山略年譜」『禅研究所紀要』三

「古写本『洞谷記』と流布本『洞谷記』」『閑花集』愛

川口高風

知学院大学短期大学部

|俯貫雄道と退歩玄妙] 『仏教の思想と文化の諸相』 (小林圓照博士古稀記念論集・『禅学研究』特別号)

の研究』(竹貫元勝博士還暦記念論集)永田文昌堂

|裁断橋擬宝珠銘を書いた月峰慶呑] | 『禅とその周辺学

白鳥山陵よりの出土品を書写した石雄恵玉につい て」『禅の真理と実践』(東隆眞博士古稀記念論集)

浅野斧山の伝記と論稿、 春秋社 著作」『日本人の宗教と庶民

黄龍寺蔵資料について」『愛知学院大学教養部紀要』 信仰』(圭室文雄先生古稀記念論集)

平成一七年度禅研究所活動記録

黄泉無著の「晧台二一世黄泉和尚参府日鑑」 につい

て」『愛知学院大学教養部紀要』五三 (二)

- 三代目、四代目助高屋高助の死絵について」 『愛知学 院大学教養部紀要』五三(三)

黄泉無著の『般若心経』の注釈書について」『愛知学

|再興期の法持寺について| 『閑花集』 愛知学院大学短 院大学教養部紀要』五三(四)

「「宗報」の法規令達の総目録 (一)」 『禅研究所紀要』 期大学部

三四

『「法王派系譜」解題』真徳山天林寺 書評・熊谷忠興編『続永平寺史別冊大圓覚海』』『中

外日報』平成一七年一〇月二五日号

神戸 信寅

「『正法眼蔵』 「行持」における「行持」考」 『閑花集

木村文輝 愛知学院大学短期大学部

「ラーマーヌジャにおける高次のバクティとプラパ テイ」『愛知学院大学短期大学部研究紀要』 四四 'n

- ラーマーヌジャにおける解脱への階梯」 『閑花集』 愛

知学院大学短期大学部

「人間の尊厳と年回法要の意義」『教化研修』五〇

河野敏宏

『妙法蓮華経釈文』所引の「慈恩云」注文と慈恩大師 撰『妙法蓮華経玄賛』『妙法蓮華経音訓』対照表

(三)」(共著)『愛知学院大学教養部紀要』五三(一)

佐藤悦成

「道元禅師の禅思想と祈り」『日本仏教学会年報』七〇

|逆翁宗順『法要決疑論』の研究」『禅の真理と実践|

(東隆眞博士古稀記念論集) 春秋社

|日本禅宗の喪礼―曹洞宗の清規と喪礼―」『閑花集|

愛知学院大学短期大学部

『曹洞宗梅花読本 御詠歌解説』大阪タイキ

鈴木哲雄

〇〇周年「社会転型与多元文化」 国際学術研究

- 江蘇地方の禅宗史蹟調査」 (共著) 『愛知学院大学人

·禅宗的転型」『社会転型与多元文化』(復旦大学建校

間文化研究所紀要 人間文化』二〇

法華全挙について」『禅とその周辺学の研究』

元勝博士還曆記念論集)永田文昌堂

『伝光録』における常楽我浄」『禅の真理と実践』(東

隆眞博士古稀記念論集)春秋社

宋末・元・明初の禅僧の動向に関する資料(上)」

『愛知学院大学文学部紀要』三五

禅宗の転型」『禅研究所紀要』三四

田島毓堂

『磨言 淳冊』右文書院

立川武蔵

「ランチュン・ドルジェの『大印契誓願』」『愛知学院

文学部紀要』三五

大学人間文化研究所紀要

人間文化』二〇

『完成せるヨーガの環』第二章訳注」『愛知学院大学

"A Version of the Ngor Maṇḍala Collection," 『トン 『倶舎論』におけるダルマについて(一)」『禅研究所 紀要』三四

ダラの諸相と文化』法蔵館

林

淳

- 東北の陰陽道と天文」 『愛知学院大学人間文化研究所

紀要 人間文化』二〇

『近世陰陽道の研究』吉川弘文館

「文化史学と民俗学」『柳田国男研究論集』 四

近代仏教と国家神道-―研究史の素描と問題点の整理

引田弘道

—」『禅研究所紀要』三四

"Consecration of Divine Images in a Temple,"

From Material to Deity, (ed. by S. Einoo and J.

Takashima), Manohar (India)

"Liṅga Worship as Prescribed by the Sivapurāṇa," From Material to Deity, (ed. by S. Einoo and J.

Takashima), Manohar (India)

「アショーカ王物語(その二)」『愛知学院大学人間文化 研究所紀要 人間文化』二〇

中世・最勝講 −建久二年の条に見る論義──」『財団法

人松ケ丘文庫研究年報』

平成一七年度禅研究所活動記録

茶道にみる禅定」『仏教の思想と文化の諸相』 圓照博士古稀記念論集 ・『禅学研究』 特別号) (小 林

究所紀要』三四

台湾における仏七簡介―

-西蓮浄苑を中心に―」『禅研

吉田道興

道元禅師伝記史料集成(一)」『愛知学院大学教養部 寺史料全書 禅籍編 第三巻』大本山永平寺 「「正法眼蔵影室」「正法眼蔵(丹嶺本)」解説」『永平

紀要』五三(一)

道元禅師伝記史料集成(二)」『愛知学院大学教養部

紀要』五三 (二)

版橈晃全撰『僧譜冠字韻類』所載の「道元伝」考」

『印度学仏教学研究』五四(二)

|永平寺二祖孤雲懐奘禅師の出自考―『僧譜冠字韻 類』道元伝付記の懐奘略伝を中心に―」『宗学研

究 四八

道元禅師の人間性 展開—」『禅宗與人間佛教学術研討會論文』台湾財 ―「只管打坐」と「身心脱落」の

団法人佛光山文教基金會

The Great Cessation-and-Contemplation 研究紀要 一八	Studies 京都光華女	The International Institute for Buddhist 真宗文化 一四	Vasubandhu and the Yōgacārābhūmi 京都光華女	Studies 宗教の相貌―民族と宗教を考える―	The International Institute for Buddhist	the Ch'eng wei shih iun 教学研究所紀要 一	On the Problem of the External World in	Thought & Culture 仏教学セミナー 七	International Accociation for Buddhist 大	Buddhist Thought & Culture 5 大谷大学真宗総合研究所研究所報	Geumgang Center for Buddhist Studies 大	2004 大谷大学真宗総合研究所研究紀要	Korean Buddhism in East Asian Prespectives 親鸞教学 八四~八	用させていただきます。	いました。研究資料として永く保存し活 SOCIETY 118 (1) ~ 120 (4)	左記の図書を御恵贈下さり有難うござ JOURNAL OF THE A	〈寄贈者五○音順・敬称略〉 傘松 七三七~七四八	永平寺史料全書 禅籍編	(平成一七年二月~平成一八年一月) 叡山学院研究紀要 署則図書目	(摩訶止観)	
	京都光華女子大学真宗文化研究所		京都光華女子大学真宗文化研究所	宗教を考える―	教学伝道研究センター	_	大谷大学仏教学会	七九・八〇	大谷大学真宗総合研究所	究所研究所報 四五	大谷大学真宗総合研究所	究所研究紀要 二二	八四~八六 大谷大学真宗学会	エール大学図書館	$\sim 120 (4)$	JOURNAL OF THE AMERICAN ORIENTAL	八 永平寺	精編 三 永平寺	二七 叡山学院	Paul L. Swanson	
駒澤大学	駒澤大学仏教学部研究紀要 六三	宗教学論集 二四 駒澤宗教学研究会	仏教研究 三三 国際仏教徒協会	国際仏教学大学院大学附属図書館	大正蔵・敦煌出土仏典対照目録	国際仏教学大学院大学附属図書館	List of Publicatoions Received 7	仙石山論集 二 国際仏教学大学院大学	国際仏教学大学院大学	国際仏教学大学院大学研究紀要 九	国際日本文化研究センター	日本研究 二九~三一	廃仏毀釈百年 紹隆寺	高野山大学密教文化研究所	高野山大学密教文化研究所紀要 一八	高野山大学密教学会	密教学会報 四一~四三	慶應義塾大学芸文学会	藝文研究 八八・八九	京都女子大学宗教・文化研究所	

	弗攸文匕冓莝 四九	聖和学園短期大学	聖和学園短期大学紀要 四二	西山学会年報 西山学会	豊山学報 四八 真言宗豊山派総合研究院	佛教論叢 四九 浄土宗	併号種智院大学密教資料研究所	種智院大学密教資料研究所紀要 六・七合	密教学 四〇・四一 種智院大学密教学会	種智院大学研究紀要 六 種智院大学	四天王寺国際仏教大学	四天王寺国際仏教大学紀要 平成一六年度	駒澤短期大学仏教科	駒澤短期大学佛教論集 一一	駒澤大学仏教経済研究所	仏教経済研究 三四	駒澤大学佛教学部	駒澤大学仏教学部論集 三六	駒澤大学大学院仏教学研究会	駒澤大学大学院仏教学研究会年報 三八	駒澤大学文学部研究紀要 六三 駒澤大学
美原图》。三氢含有20月	印恩完争上宗学开党听	浄土宗学研究 三一	大雄 九八~一〇一 大雄山最乗寺	大東文化大学東洋研究所	東洋研究 一五六~一五九	大正大学綜合仏教研究所	大正大学綜合仏教研究所年報 二七	大正大学研究紀要 九〇 大正大学	大乗寺を開いた徹通義介禅師 大乗寺	宗学と現代 六 曹洞宗総合研究センター	曹洞宗総合研究センター	宗学研究紀要 一八	宗学研究 四七 曹洞宗総合研究センター	教化研修 四九 曹洞宗総合研究センター	伝光録 曹洞宗宗務庁	曹洞宗報 七三三~七四四 曹洞宗宗務庁	曹洞宗宗務庁	曹洞宗研究員研究紀要 三五	跳龍 六四六~六五四 總持寺	善通寺教化振興会	善通寺教化振興会紀要 一〇
	東京女子大学记要倫集 丘丘(二)・丘六(二)	天台学報 四六 天台学会	增補室内住職学随聞録 滴禅会	鶴見大学仏教文化研究所	鶴見大学仏教文化研究所紀要 一〇	鶴見大学紀要 四二 鶴見大学	中華佛学研究 九 中華佛学研究所	中華佛学学報 一八 中華佛学研究所	中央学術研究所	ンピュータによる自動解析Ⅱ	中期インド・アリアン聖典のパーソナルコ	中央学術研究所	中央学術研究所紀要 三四	一〇中央学術研究所	原始仏教聖典資料による釈尊伝の研究	中央学術研究所	MAHĀVASTU-AVADĀNA 2	中央学院大学社会システム研究所	(二)・六 (一)	中央学院大学社会システム研究所紀要 五	現代密教 一八 智山伝法院

成田山仏教研究所紀要 二八 成河智明	道元を求めて 二 正法眼蔵第三 仏性道元 中野東禅	東洋哲学研究所紀要 二一東洋大学文学部東洋学論叢 五八 東洋大学文学部	東洋学研究 四一 東洋大学東洋学研究所同朋大学佛教文化研究所	同朋大学佛教文化研究所紀要 二四 同朋大学大学院	東方学会報 八八・八九 東方学会東国大学校仏教文化研究院	仏教学報 四一·四二 東京大学仏教青年会	仏教文化研究論集 九 東京大学仏教青年会 仏教文化 四四 東京大学仏教青年会	日本文学 一〇一 東京女子大学
花園大学人権教育研究センター周縁世界の豊穣と再生 庭野平和財団	密教学研究 三四・三五・三七	日本仏教教育学研究 一三 日本仏教教育学研究 一三	現代宗教研究 三九 日蓮宗現代宗教研究所	南都佛教 八五·八六 南都仏教研究会南山宗教文化研究所	南山宗教文化研究所報 一五南山宗教文化研究所	JAPANESE JOURNAL OF RELIGIOUS STUDIES (CD-ROM) 1 ~ 30	JAPANESE JOURNAL OF RELIGIOUS 南山宗教文化研究所	Bulletin of the Nanzan Institute for Religion and Culture 29
法鼓山年鑑 二〇〇四 法鼓山文教基金会法鼓山年鑑 一九八九~二〇〇一	北陸宗教文化 一七 北陸宗教文化学会 佛教大学総合研究所	佛教大学総合研究所報 二七·二七別冊 佛教大学総合研究所報 二七·二七別冊	佛教大学総合研究所紀要 一二	後水尾法皇下賜正明寺蔵 初版『黄檗版大豊山教学大会紀要 三三 豊山教学振興会	福神 一〇 福神研究所	古代中國人の思想と生活―「仁」― 文化の諸相 花園大学禅学研究会	小林圓照博士古稀記念論集 佛教の思想と - 花園大学人権教育研究センター花園大学人権教育研究センター報 七・八	花園大学人権教育研究センター人権教育研究 一三

身延論叢 身延山大学仏教学部紀要 松ヶ岡文庫研究年報 一九 鈴木大拙研究基礎資料 身延山大学仏教学会 身延山大学仏教学部 松ヶ岡文庫 松ヶ岡文庫

日蓮教学研究所紀要 三二

立正大学日蓮教学研究所

法華文化研究 二九・三〇 立正大学法華経文化研究所

臨済宗妙心寺派教学研究紀要 三 龍谷教学会議

臨済宗妙心寺派教化センター

龍谷教学 四〇

-287-

『禅研究所紀要』

本紀要の執筆者は次のとおりとする。

禅研究所所員並びに研究員

- (2)愛知学院大学の専任並びに非常勤の教員で、 編集委員会において適当と認められ
- 原稿は、 禅研究所の活動に関わりのある上記以外の者で、編集委員会において適当と認められた者 仏教に関する未発表のものとし、 採否並びに掲載時期は編集委員会が決定する。

原稿枚数は四〇〇字詰原稿用紙五〇枚程度とし、英文等の場合は此れに準ずる。

表・図版等は規定枚数に含めることとし、作成経費が多大となる場合、 実費負担を申し受けることがある。

論文キーワードと現在の所属機関名・職名・連絡先

(住所)

/電話等)を添付し、更に英文タイト

校正は誤植の訂正程度とし大幅な内容変更は認めない。 掲載者には抜刷三〇部を進呈する。 本人による校正は再校校了とする。

ルと氏名を添える。

原稿提出の際には、

締切は原則として毎年一○月三一日とする(締切厳守)。

機関に委託する。 本紀要に掲載された論文等につき、 執筆者は、 データの電子化並びに公開 に関わる権利を本所または本所の依頼する

附則 但し、執筆者本人が著作を利用・公開することは、 この 規程は平成 一五年四月一 日 [より 施行する。 これを妨げない。

附則

この規程は平成

日より施行する。